

## は じ め に

この「台東区財政の現況」は、健全な財政運営を積極的に推進するための基礎資料として、また、区の財政状況をご理解いただくための参考資料として作成しています。

平成25年度普通会計決算では、特別区税が、個人所得の増加などにより前年度と比べて約12億円の増収となる一方、特別区交付金は、実績に基づく算定額の減少などにより約14億円の減収となりました。

一方、歳出では、歳出全体の総額が約41億円の減となりましたが、扶助費については、生活保護の被保護者数の増加や障害福祉サービス、子育て支援施策の充実などを背景に、引き続き増加傾向にあります。

また、財政構造の弾力性を判断する指標として使用されている経常収支比率は86.7%となり、前年度からは低下したものの5年連続で80%を超えており、依然として高い水準で推移しています。

本書は、平成25年度の決算状況を次の構成でお示ししています。

第1部は、総務省の地方財政状況調査（決算統計）に基づき、歳入決算・歳出決算の推移や特別区債・基金の状況などについて、過去10年間の変化とともに23区との比較などについて掲載しています。

第2部は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率について掲載しています。

第3部は、発生主義・複式簿記の考え方を導入した、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書からなる普通会計財務4表及び連結財務4表を掲載しています。

第4部は、事務事業別コスト計算一覧を掲載しています。

また、巻末に参考として平成25年度において実施した「ゼロ予算事業」を掲載しています。